ハンドマイク街頭演説原稿例　石破首相退陣表明（その１）

二〇二五年九月八日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさんも報道でご存知のことと思いますが、石破茂総理が自民党総裁を辞任し、内閣総理大臣の職からもしりぞく意思を表明しました。昨年十月に就任し、約一年での退陣となりました。

　石破政権発足直後の衆議院総選挙では、自民党の裏金問題への国民の怒りが大きく高まり、自民党・公明党の連立与党の議席数が大幅に減り、過半数割れとなりました。それでも石破自民党は、裏金問題に対して反省の姿勢を見せませんでした。さらにこの一年間の石破政権の政治は、物価高騰に対して経済無策と言わざるを得ない状況でした。また、アメリカの求めるままに日本の軍備を大幅に増やし、その分、国民の生活を支える社会保障などの予算を抑え込んできました。こんな政治姿勢への厳しい審判が下ったのが、七月の参議院選挙だったのではないでしょうか。

　石破政権の政治姿勢は、石破さんのオリジナルではありません。自民党の政治姿勢そのものです。だから、石破さんがやめて終わる問題ではなく、自民党全体の責任が問われているのではないでしょうか。今の行き詰まった政治を打開するには、自民党政治そのものを終わらせるしかありません。日本共産党は、自民党政治をおおもとから変えるため、引き続き全力でがんばります。

　さてみなさん、参議院選挙のあと、本格的な政策論議をする国会は開かれていません。参議院選挙で大きな論点となった消費税の減税など、国民の切実な要求にどうこたえるか。また、アメリカいいなりの軍備の大増強を続けるのか、イスラエルによるパレスチナ・ガザでの残虐な軍事攻撃に日本政府としてどう対応するか、たくさんの課題があります。自民党総裁選挙の結果を待つのではなく、早く臨時国会を開いて議論を進め、国民の要求に応える必要があります。

　日本共産党は、思想や信条の違いを超え、自民党政治を終わらせ、極右・排外主義の政治を許さない新たな国民的・民主的な協働を広げ、新しい政治を実現するため、引き続き全力で頑張る決意です。日本共産党へのご支持、ご支援をよろしくお願いいたします。

　みなさん、日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」は、自民党の裏金問題を最初に取り上げました。十月からは、週一回発行の「日曜版」の電子版が新たにスタートします。この機会に「しんぶん赤旗」をぜひお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）